

令和2年8月1日以降に生まれたお子さんのご家族の方へ

令和2年10月1日から定期接種化

ロタウイルスワクチンが 無料（公費）で接種できます！

◇定期接種の開始時期

令和2年10月1日（木）から



◇定期接種の対象者

令和2年8月1日以降に生まれた子ども

※令和2年9月末までに接種する場合は任意接種
（全額自己負担）となるためご注意ください。

◇接種回数・接種期間

ロタウイルスワクチンは口から飲む生ワクチンです。

ワクチンには、「ロタリックス」と「ロタテック」の2種類がありますが、有効性や安全性は同等と考えられています。

接種を受けるに当たっては、必要回数分をすべて同一のワクチンで受ける必要があります。

※途中でワクチンの種類を変えることはできません。

※接種液を吐き戻しても、その回の追加接種は必要ありません。

ワクチンの種類	ロタリックス	ロタテック
接種回数	27日以上の間隔をおいて 2回	27日以上の間隔をおいて 3回
接種期間	出生6週0日後から 出生 24週0日 後まで	出生6週0日後から 出生 32週0日 後まで

◇初回接種（1回目）は出生14週6日後まで

いずれのワクチンも、出生15週0日後以降の初回接種については、副反応（腸重積症）のリスクが増加し、安全性が確立されていません。標準的には、生後2月から出生14週6日後までに初回接種を受けることが推奨されています。

※出生15週0日後以降の初回接種はお勧めしておりません。

※出生14週6日後とは令和2年8月1日（土）生まれの場合、令和2年11月13日（金）となります。

重症胃腸炎の予防のため、ロタウイルスワクチンを接種しましょう！

ロタウイルス感染症とは

冬から春にかけて流行します

小さい子どもが感染しやすい

ロタウイルスは感染力が非常に強く、衛生状態に関係なく、5歳までにほとんどの乳幼児が感染するといわれています。

主な症状は急性胃腸炎（ロタウイルス胃腸炎）で、「おう吐」「下痢」「発熱」などの症状が、1週間前後続きます。

激しいおう吐と下痢により、脱水症状になる可能性が高く、重症化すると点滴や入院が必要になることもあります。また、まれに脳炎・脳症を起こし後遺症が残ったり、死に至ることもあります。

ノロウイルスなど、胃腸炎の原因となるウイルスはいろいろありますが、主に乳幼児で重症化する原因として、ロタウイルスが最も多いといわれています。ロタウイルスは1種類だけではなく、複数の型（種類）があることから、一度感染しても、別の型で感染を繰り返す可能性があり、症状は初期感染時が最も重症化することが知られています。ワクチンは、感染を完全にふせぐものではありませんが、初期感染時の重症化を予防するため、ロタウイルスワクチンを早期に接種し、早期に完了させましょう。

【接種場所】

実施医療機関	電話番号	ロタリックス	ロタテック	予約
帯広協会病院	22-6600	○		不要
慶愛病院	22-4188	○	○	必要
サンタさんこどもクリニック	33-1240	○	○	必要
20条小児科内科クリニック	35-8612	○	○	必要
ハートサウンズむのクリニック	58-5077	○		必要
フクイしょうにかいいん	37-4152	○		不要
北斗クリニック	47-8000	○		必要
みなみ町こどもクリニック	49-3300	○	○	不要

※受付曜日・時間などは帯広市のHPに掲載します。（9月頃予定）

●接種時の持ち物● 母子健康手帳



接種後は腸重積症にご注意ください！！

腸重積症とは？

▶腸の一部が腸の他の部分に入りこみ、腸が閉塞した状態。

▶ロタウイルスワクチン接種の有無にかかわらず、主に0歳のお子さんにかかることがある病気です。

（日本では0歳児で年間約1000人が発症）

▶生後3～4か月ぐらいから月齢が上がるにつれて増えてきますので、早めにワクチンを接種し、完了させることがすすめられています。

▶ロタワクチン接種後1～2週間ぐらいの間は、発症リスクが少し増加する可能性があると考えられています。

腸重積症の主な症状

以下のような症状が一つでもみられた場合は、速やかに医師の診察をうけてください。

おう吐を繰り返す ぐったりして、元気がない 泣いたり不機嫌になったりを繰り返す 血便がでる

お問い合わせ先

帯広市 市民福祉部 健康保険室 健康推進課 地域保健係

電話：0155-25-9720

〒080-0808 帯広市東8条南13丁目1番地 帯広市保健福祉センター内

帯広市HP
「子どもの予防接種」

